学長／教授　千葉　正（ちば　ただし）

最　終　学　歴	城西大学経済学部経済学科　卒業 日本体育大学大学院体育科学研究科博士課程 研究生修了
学 位・資 格 等	経済学士、日本スポーツ協会公認バレーボール(コーチ４)
所　属　学　会	日本体育学会、日本発育発達学会、日本体力医学学会、バレーボール学会、トレーニング科学学会、日本スポーツ健康科学学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発 行 所 ・ 発 行 雑 誌 等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. 休園による家庭環境の変化と子どものストレスについての研究 ーコロナ自粛による休園は園児のストレスに影響を与えたかー	共	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 31-36	千葉正 館山壮一
2. クラス・コミュニティとしての状態と施設実習に与える影響 ー保育系学生の施設実習指導に関する考察ー	共	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 23-29	館山壮一 千葉正
3. 保育者を目指す短期大学生の幼少期の自然体験と「環境」領域の授業への示唆	共	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 53-58	千葉正 千葉悟
4. 保育士を目指す学生が抱える課題と変化について ーテキストマイニングによる研究の整理と展望ー	共	2019年3月	修紅短期大学紀要 第39号 35-49	館山壮一 千葉正
5. 標準的体型にある日本人小児のsomatotypeの特徴	共	2018年2月	修紅短期大学紀要 第38号 41-48	千葉正 乙木幸道 井川正治
6. 園庭の広さの違いが園児の活動量に与える影響 ー岩手県A幼稚園の場合ー	共	2018年2月	修紅短期大学紀要 第38号 31-40	千葉正 千葉裕太 井川正治
【その他】 特になし				

学科長／教授　鈴木　美樹子（すずき　みきこ）

最　終　学　歴	宇都宮短期大学音楽科　卒業
学 位 ・ 資 格 等	中学校教諭二級免許状(音楽)
所　属　学　会	全国大学音楽教育学会、日本赤ちゃん学会、日本保育学会、日本演奏連盟、日本ピアノ教育連盟、全日本ピアノ指導者協会(正会員)、一関バッハ研究会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共著者・ 発表者等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. 1986年～1990年の海外の音楽大学教授による一関市での子どもと幼児教育学科生のための「感性教育」の実践と国際交流	単	2018年2月	修紅短期大学紀要 第38号 87-93	
2. 1991年～2017年の海外の音楽大学教授による一関市での子どもと幼児教育学科生のための「感性教育」の実践と国際交流	単	2018年2月	修紅短期大学紀要 第38号 94-104	
3. 本学におけるピアノ初心者教育プログラム	単	2018年2月	修紅短期大学紀要 第38号 105-106	
【その他】				
1. 演奏会 第32回一関バッハフェスティバル「赤ちゃんコンサート」Ⅵ	―	2019年2月	一関市・一関文化協会 一関バッハ研究会	鈴木美樹子 清水寿満子 小岩光枝 鈴木庸子 熊谷秀子 丹野美子 戸田一恵 佐々木ゆみ 舞石美和 中村朋子 加藤裕美 柴田誠太郎
2. 学会発表 赤ちゃんコンサートの企画と実践	―	2018年8月	全国大学音楽教育学会 第34回全国大会 (仙台大会)	鈴木美樹子
3. 演奏会 第31回一関バッハフェスティバル「赤ちゃんコンサート」Ⅴ	―	2018年2月	一関市・一関文化協会 一関バッハ研究会	鈴木美樹子 清水寿満子 小岩光枝 鈴木庸子 熊谷秀子 丹野美子 戸田一恵 佐々木ゆみ 舞石美和 中村朋子

				加藤裕美 柴田誠太郎
4. 学会発表 作曲家の立場から一関市内、平泉町公立私立幼稚園の園歌編曲について	―	2017年6月	全国大学音楽教育学会 東北大会研究発表	鈴木美樹子 柴田誠太郎
5. 学会発表 子どもに聴かせたい音楽、一関市公立幼稚園全園の取り組みから	―	2017年6月	全国大学音楽教育学会 東北大会研究発表	鈴木美樹子

教授　菊池　武剋（きくち　たけかつ）

最　終　学　歴	東北大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程　単位取得退学
学 位 ・ 資 格 等	文学修士
所　属　学　会	日本心理学会、日本教育心理学会、日本発達心理学会、日本キャリア教育学会、日本犯罪心理学会、東北心理学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共著者・ 発 表 者 等
【著書】				
1. 子どもとかかわる人のための心理学ー保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助への扉ー	共	2020年10月	(株)萌文書林 第5章 第8節 249-252	沼山博 三浦主博 加藤道代 神谷哲司 菊池武剋 鈴木智子 髙橋賢 津田千鶴 中村修 福島朋子
2. キャリア教育概説	共	2020年9月	(株)東洋館出版社 第Ⅰ章 第1節 8-11	清水和秋 松井賢二 古川雅文 下村英雄 吉田辰雄、他
3. 子どもとかかわる人のための心理学ー保育の心理学、子ども家庭支援の心理学への扉ー	共	2019年5月	(株)萌文書林 第5章 第8節 229-232	沼山博 三浦主博 大向幸男 加藤道代 神谷哲司 菊池武剋 鈴木智子 田上恭子 津田千鶴 中村修 中谷敬明 福島朋子 細越久美子
【学術論文】				
1. 生涯発達における幼児期ー「10の姿」を考えるー	単	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 47-51	
2. 学校教育の学習課題としてのハンセン病問題～総合的な学習の時間との関連から	共	2019年3月	山形県立米沢栄養大学紀要 第6号 7-22	沼山博 福島朋子 菊池武剋
3. Psychosocial development of Hansen's disease sanatoriums residents in Japan from the perspective of ecological systems: examining the relationship between social changes and human development	共	2018年3月	岩手フィールドワークモノグラフ 第20号 37-51	沼山博 福島朋子 菊池武剋

【その他】 特になし				

教授　高橋　正紀（たかはし　まさのり）

最　終　学　歴	弘前大学人文学部文学科　卒業
学 位 ・ 資 格 等	文学士
所　属　学　会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共著者・ 発表者等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. 言語的つながりから見る幼小連携についての考察 －小学校学習指導要領と幼児教育3法令を対象に－	共	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 21-29	館山壮一 高橋正紀
2. 「総合的な探究の時間」に関わる高大連携の在り方－「大船渡学」の実践をとおして－	単	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 51-55	
【その他】				
1. 「大船渡学」の取組～大船渡のことを学ばない「大船渡学」～	単	2019年6月	全普高会誌 第67号 68-74	

教授　小山　祐二（おやま　ゆうじ）

最　終　学　歴	宇都宮大学教育学部小学校教員養成課程 国語専修　卒業
学 位 ・ 資 格 等	教育学士
所　属　学　会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共著者・ 発表者等
【著書】 特になし				
【学術論文】 1. 連携を学校経営の柱にした教職員の人材育成について	単	2021年9月	令和3年度全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会第58回全国研究協議会岩手大会研究紀要40-41	
【その他】 校内研究会講師 1. 文学的な文章の基本的な読み方	—	2021年11月	一関市立山目小学校研究会	小山祐二
校内研究会講師 2. 高学年の文学的な文章の読み方について	—	2020年11月	一関市立山目小学校研究会	小山祐二
地方研究会講師 3. 文学的な文章の読み方について	—	2019年6月	一関地方小学校国語研究会	小山祐二
教育関係事業の担当 4. ことばの力を育てる教育	—	2017年4月～ 2019年3月	一関市教育委員会学校教育関係事業	小山祐二、他

講師　中尾　彩子（なかお　あやこ）

最　終　学　歴	文京学院大学大学院人間学研究科心理学専攻心理学コース　修了
学 位 ・ 資 格 等	修士(心理学)
所　属　学　会	日本心理学会、日本発達心理学会、日本応用心理学会、日本保育学会、日本保育者養成教育学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発 行 所 ・ 発 行 雑 誌 等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. ウェアラブカメラ映像を用いた保育実践の共有と相互理解の試み	単	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 27-36	
2. 早期の職業選択が想定するライフコースのイベント記述数とキャリア発達に及ぼす影響	単	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 37-42	
3. 遊びからみた子どもの社会性の発達	共	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 31-36	牧野順四郎 中尾彩子
4. 養育者の幼児に対する被服援助と幼児の被服関心	共	2019年3月	修紅短期大学紀要 第39号 1-7	中尾彩子 牧野順四郎
5. 母親と子供の性格の類以性	共	2019年3月	修紅短期大学紀要 第39号 9-17	牧野順四郎 中尾彩子
6. 保育者からみた乳幼児の社会的行動の発達	共	2018年2月	修紅短期大学紀要 第38号 1-7	中尾彩子 牧野順四郎
【その他】				
1. 子どもはどこを見ているのか。保育者の思いと子どもの興味	―	2019年8月	第10回幼児教育実践学会 (常葉大学、静岡)	小野寺郁子 中尾彩子
2. 制作活動における幼児と短大生のコミュニケーションのあり方の検討 ーほめ言葉の多様性に注目してー	共	2018年3月	日本保育者養成教育学会 第2回大会プログラム・抄録集	中尾彩子 蛯名正司
3. 保育者からみた乳幼児の社会的行動の発達的変化	共	2018年3月	東北心理学研究 第67号 東北心理学会 第71回大会 発表論文集	中尾彩子 牧野順四郎
4. 就職に対する明確な態度がライフコースのイメージに及ぼす影響(1)	共	2017年8月	日本応用心理学会 第84回大会発表論文集	中尾彩子 雨森雅哉
5. 就職に対する明確な態度がライフコースのイメージに及ぼす影響(2) ライフコースイメージ内容との検討	共	2017年8月	日本応用心理学会 第84回大会発表論文集	雨森雅哉 中尾彩子

講師　館山　壮一（たてやま　そういち）

最　終　学　歴	神戸大学大学院経済学研究科総合経済政策専攻博士課程後期課程　満期退学
学位・資格等	修士(経済学)
所　属　学　会	日本保育学会、東北経済学会、地理情報システム学会、日本都市計画学会、日本消費経済学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所・発行雑誌等又は発表学会等の名称	共著者・発表者等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. 農福連携事業の法人化戦略について －地域運営組織の社会福祉法人化の提案－	単	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 13-26	
2. 福祉的就労において農福連携が果たす意義と役割	共	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 1-12	館山壮一 宮城好郎
3. 保育所を運営する社会福祉法人の持続可能性戦略に関する考察－損益分岐点分析を通して－	単	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 37-44	
4. 農福連携研究の展望と行政支援の現状（査読付き）	単	2022年3月	東北経済学会誌第75巻1号	
5. 保育士を目指す学生の語想起能力と生育環境の関連 －保育の環境構成を事例として－	単	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 15-20	
6. 言語的つながりから見る幼小連携についての考察 －小学校学習指導要領と幼児教育3法令を対象に－	共	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 21-29	館山壮一 高橋正紀
7. 休園による家庭環境の変化と子どものストレスについての研究 －コロナ自粛による休園は園児のストレスに影響を与えたか－	共	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 31-36	千葉正 館山壮一
8. 農村コミュニティの価値と評価手法に関する考察	共	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 1-13	館山壮一 宮城好郎
9. こども園における幼小連携の認知度とスクールソーシャルワーカーの活用可能性 －岩手県内のこども園を対象に－	単	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 15-21	
10. クラス・コミュニティとしての状態と施設実習に与える影響 －保育系学生の施設実習指導に関する考察－	共	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 23-29	館山壮一 千葉正
11. 小地域における意思決定と社会ネットワークの時系列的変化 －花巻市高松地区における住民主体の福祉サービスを事例として－ (査読付き)	単	2020年3月	東北経済学会誌 2019年度 第73巻 No.1 11-23	

12. 農福連携における住民主体の福祉サービス ー岩手県花巻市の取り組みを通してー(査読付き)	単	2020年3月	消費経済研究 第9号 (通巻第41号) 149-158	
13. 社会ネットワーク分析のデータの取扱について ー農村コミュニティを対象とした研究を中心にー	共	2019年3月	修紅短期大学紀要 第39号 19-33	館山壮一 宮城好郎
14. 保育士を目指す学生が抱える課題と変化について ーテキストマイニングによる研究の整理と展望ー	共	2019年3月	修紅短期大学紀要 第39号 35-49	館山壮一 千葉正
15. 廃校の利用状況と土地利用への影響について ー一関市を事例としてー	単	2019年3月	修紅短期大学紀要 第39号 51-63	
【その他】				
1. 口頭発表 「会計システムの概念を応用した農村集落の価値評価手法の検討」	―	2020年7月	日本消費経済学会 北海道東北支部大会 (オンライン)	館山壮一 宮城好郎
2. 口頭発表 小地域における意思決定と社会ネットワークの時系列的変化ー花巻市高松地区における住民主体の福祉サービスを事例としてー	―	2019年8月	東北経済学会 山形大学	館山壮一 宮城好郎
3. 口頭発表 農福連携における住民主体の福祉サービス	―	2019年3月	日本消費経済学会 北海道東北支部大会 (北星学園大学)	館山壮一 宮城好郎

助教　皆川　理奈（みながわ　りな）

最　終　学　歴	東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程　修了
学位・資格等	修士(美術)
所　属　学　会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所・発行雑誌等又は発表学会等の名称	共著者・発表者等
【著書】 特になし 【学術論文】 特になし 【その他】 資料提供 1. 皆川俊平「体験と共創による活動のためのノート」のFig. 13とFig. 14	単	2018年3月	八戸工業大学紀要 第37巻 233-243中のp. 239とp. 240	